

## 八戸市男女共同参画基本計画2012年版（案）に対する市民意見と対応

〔パブコメ実施期間：平成24年2月10日～2月28日 意見提出者数：1名 提出件数：3件 〕

No.	区 分	計画案に対する意見	意見への対応
1	「第3章 計画の内容」 基本方向Ⅱ 男女がともに活躍できる環境づくり (P17)	<p>・女性のキャリアアップの促進について</p> <p>この施策の事業を拝見すると、キャリアアップというより、女性のエンパワーメントへ向けての施策の段階の事業のように受け止めてしまいかねない。キャリアという文言を使うのであれば、事業の部分に商工政策の関連の事業を組み入れ、就業だけではない、起業・創業にまで向けた事業を進めていかないとキャリアアップという言葉は当てはまらないように思います。</p>	<p>○審議会においても指摘があったことから、女性のキャリアアップの促進については、雇用の分野だけでなく、様々な場での女性の活躍推進の観点から起業支援も含まれるものと捉え、主な事業として次のとおり掲載することとしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アントレプレナー情報ステーション事業（商工政策課）</li> </ul> <p>また、すでに掲載されている再就職支援の事業についても追加することとしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年者キャリアアップ事業（雇用支援対策課）</li> <li>・フロンティア八戸職業訓練助成金（雇用支援対策課）</li> <li>・母子家庭自立支援教育訓練給付金（子ども家庭課）</li> </ul>
2	「第3章 計画の内容」 基本方向Ⅲ 安全・安心な社会づくり (P20)	<p>・避難所などでの男女のニーズに違いがある。男女双方の視点に配慮したという文言について</p> <p>八戸市はこの部分に関してはそれ以前に問題という感がこのたびの震災を通じて感じた。よって正直に「まだまだ男女双方の視点に配慮に欠けた部分が多い事実を認め、そこを踏まえて、<u>配慮した取り組みを進める必要の重要性を認識し、男女共同参画の視点を入れた・・・</u>という言葉にしたほうが市民の意識へ向けて高まるように思う。理想文言を並べたような感じを受ける。</p>	<p>○つぎのとおり変更することとしたい。</p> <p><b>【変更前】</b></p> <p>また、近年、頻発している災害への対応においては、避難所等での男女のニーズに違いがあることを踏まえ、男女双方の視点に配慮した取組を進めるため、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を確立する必要があります。</p> <p><b>【変更案】</b></p> <p>また、国において決定された「東日本大震災からの復興の基本方針」（平成23年7月29日）において、その基本的な考え方として、「男女共同参画の観点から、復興のあらゆる場・組織に、女性の参画を促進する。」との記述が盛り込まれました。このように、近年、頻発している災害への対応においては、避難所等での男女のニーズに違いがあることから、男女双方の視点に配慮した取組を進める必要があり、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を確立することが求められています。</p>
3	その他 (表紙裏)	<p>・宣言文について</p> <p>10年を迎えた「男女共同参画都市」宣言10周年はなさらないのですか？</p> <p>当時の国の絡みもあり、「生き生き」という部分ですが、自分らしく生きていくために、一歩ステップアップして「いきいき」もしくは「活き活き」と明るいイメージを持たせる字句の訂正があるといいなと感じています。八戸は八戸らしく行動をするのも良いのでは？</p>	<p>○平成23年10月に、「男女共同参画都市宣言」とともに「八戸市男女共同参画基本条例」が施行10周年を迎えたことから、下記のとおり記念事業等を実施済み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市男女共同参画基本条例施行10周年記念講演会（H23.10）</li> <li>・八戸市男女共同参画基本条例施行10周年記念事業「市民企画事業」（H23.10）</li> <li>・広報はちのへ10月号に特集記事を掲載</li> </ul> <p>○宣言文「生き生き」の文言については、条例の中でも「生き生き」の文言を掲載していることから当初（平成13年）の宣言のとおりとしたい。</p>